

論文内容要旨

論文題目

がん患者の治療と就労の両立の現状と課題に関する研究

指導（紹介）教授： 山下 英俊
氏 名 ： 村上 正泰

【内容要旨】（1，200字以内）

「がん対策推進基本計画」で「がん患者の就労を含めた社会的な問題」が対策の柱の1つに位置付けられるなど、相次ぐ施策が講じられている。働き盛り世代のがん患者では、大半の人が仕事を継続したいという希望を持っており、実際に職場に復帰して活躍している人も多数いるが、がん罹患したことを契機に失職してしまう人たちも少なくない。従来の実態調査では全体的な離職率等が示されているだけで、がんのステージや職業、雇用形態の相違を踏まえた分析や検討がなされていない。それらの詳細な実態を明らかにするため、本研究は、山形県内のがん診療連携拠点病院の協力を得て、2011年11月28日～12月9日に各拠点病院において入院中または外来受診した全てのがん患者を対象として「がん患者の就業状況・社会復帰に関する調査」と題する質問紙調査を実施した。

分析対象患者のうち、24.2%が定年以外の理由で失職中であることが明らかとなった。診断時の職場で勤務中の割合は自営業者と公務員で高かったが、男性の非正規雇用労働者では失職となる割合が有意に高かった。早期に発見されるほど失職率は有意に低かった。診断時も現在も有業の者を対象に、がん診断時点と現時点それぞれの年収階級を確認すると、200万円未満の割合が有意に増加しており、自営業と正規雇用労働者において有意な差が見られた。仕事継続の意思のある正規雇用労働者でも、23.1%が依願退職し、3.7%が解雇されていた。休職も含めて就業の継続が可能であった割合が最も高い公務員においても、仕事継続の意思がある者のうち、依願退職した割合は14.3%に上っていた。他方で、非正規雇用労働者の場合は、仕事継続の意思がある者でも、35.7%が依願退職していた。がんと診断された時点で事業主からの理解や支援が得られたのかを見てみると、「十分得られた」割合は公務員が高く、次いで正規雇用労働者、非正規雇用労働者の順で低かった。被用者の復職者について、調査時点において事業主から理解や必要な支援が得られているのかを見ると、「十分得られている」としたのは公務員、正規雇用労働者で高い一方、非正規雇用労働者は低かった。

仕事継続への不安としては、①体調・体力面での不安、②精神状態についての不安、③再発・転移の不安が挙げられ、必要な支援策としては、①医療費の補助、②休職中の生活保障、③復職後の就業環境に対する制度的支援、④復職に向けた病院からの支援、⑤病院の内外でがん患者の相談窓口や精神的緩和ケア（ピアグループ形成を含む）が挙げられた。

本研究により、とりわけ、男性の非正規雇用労働者が厳しい状況に置かれていることが初めて明らかになり、正規雇用労働者でも、復職後も年収が200万円未満に落ち込む層が有意に増えていることなどが示された。こうした厳しい就労の実態を踏まえ、治療と就労が両立できるようなスキームの構築が早急に求められている。

（1，186字）

平成 30 年 8 月 8 日

山形大学大学院医学系研究科長 殿

学位論文審査結果報告書

申請者氏名：村上 正泰

論文題目：がん患者の治療と就労の両立の現状と課題に関する研究

審査委員：主審査委員 上野 義之 

副審査委員 山下 英俊 

副審査委員 今田 恒夫 

審査終了日：平成 30 年 8 月 8 日

【 論 文 審 査 結 果 要 旨 】

がん患者の治療と就労の状況について、山形県内のがん診療連携拠点病院で診療を受けたアンケートを基に現在の我が国のがん患者の就労状況を詳細に調査したもので、他に類をみない貴重なデータを得ている。主な知見として、

1. 診断後1年以上経過した現役層のがん患者の約4分の1が失職していた。
2. 男性の非正規雇用患者の就労が厳しい状況にある。
3. 正規雇用労働者でも、復職後に年収が200万円未満に落ち込む層が有意に増加していた。
4. がん患者に必要な支援として、医療費の補助、休職中の生活保障、復職後の就業環境に対する制度的支援、などの政策提言が可能であった。

これに対して、審査委員から、

1. 本研究は山形県内のものであるが、全国での統計との普遍性についてデータはあるのか
 2. 年齢と離職に関する検討のサブ解析などで特に有意差はなかったのか
 3. アンケート回収率が50%を超えている点について
 4. がん患者のステージが進行するにつれて医療費が増加する客観的なデータはあるのか
- などの指摘がなされた。申請者はこれらの項目について、合理的に回答しまたその内容も妥当であると判断されたために、本審査会としては学位論文に値すると判断し報告する。

(1, 200字以内)